

ポラスシェアード社員が優秀勤労障害者表彰

ポラスグループ

ポラス
(埼玉県越谷市、中内晃次郎社長)のグループ会社で特例子会社のポラスシェアード(同)の社員が、埼玉県雇用開発協会から優秀勤労障害者表彰を受けた。

表彰を受けたのは、金野昭氏と渡邊富江氏の2人。両氏はポラスシェアードの前身組織から勤務を続けており、障害者が安心して働ける設備の導入、業務における優れた対応

力、業務効率化への工夫などで社内から信頼を受けている。

優秀勤労障害者表彰とは、障害を克服し、模範的勤労者として職場で信頼されている人が対象。同一事務所で



金野 氏



渡邊 氏

の勤続年数が原則10年以上であることなどを条件とし、一企業で原則2人まで選出される。

今回の表彰を受けて金野氏は「今年5月で入社10年目を迎えた。障害を持つ社員が多く働いているので、何でも相談し合える雰囲気作りに努めてきた」と述べた。

渡邊氏は「前身組織は障害を持った6人でスタートし、仕事内容も限られていた。ポラスシェアード設立の初期メンバーとしてその場にいられたことが嬉しかった」と話していた。